

自動車イベント

# 宣言解除後初の自動車大イベント 「AUTOMOBILE COUNCIL 2020」開催

7月31日(金)～8月2日(日)  
幕張メッセ10～11ホール

1990年代までに登場した世界のヘリテージカーが一堂に会する自動車イベント「AUTOMOBILE COUNCIL 2020」が7月31日～8月2日の3日間、幕張メッセ10～11ホールにて開催されました。

今年で5回目の開催を迎えた本イベントは新型コロナウイルスの感染拡大防止による政府の緊急事態宣言が解除されて以降、初の自動車大イベントとして注目を集めました。

当日は“3密”を回避するため同時入場数を、31日(金)の特別内覧日は3000名に、8月1日・2日のパブリックデーは5000名に制限しました。また5000名に達した場合には、入場制限が行われました。



一方、会場での感染拡大防止策では、来場者に対し入場登録シートの提出、サーモグラフィーカメラ並びにスタッフによる2度の検温、QRコード読み取りによる千葉市コロナ追跡サービスへの登録、マスク着用、手指の消毒等が徹底されました。

会期中は、主催者の徹底した感染拡大防止策に多くの来場者が納得したのか、終始落ち着いた雰囲気の中で展示車両を楽しむ来場者が目立ちました。

なお、会場内の富士スピードウェイ出展ブースでは、S耐NAPAC富士24時間レースのPRも行われ、8月6日に再開されるチケット販売が先行スタートされました。



今年は約90台の世界的なヘリテージカーが展示されました



トヨタ(トヨタ博物館)のセリカ誕生50周年コーナーに展示されたWRC車両



マツダ100周年を記念する展示コーナー。例年通り本イベント最大規模スペース



アルピーヌ M63



イソ・グリフォ A3/C



入場の際には2度の検温など感染拡大防止策がとられていました